

コウノトリ



毎週月曜日更新

# カタカタ通信

第168号

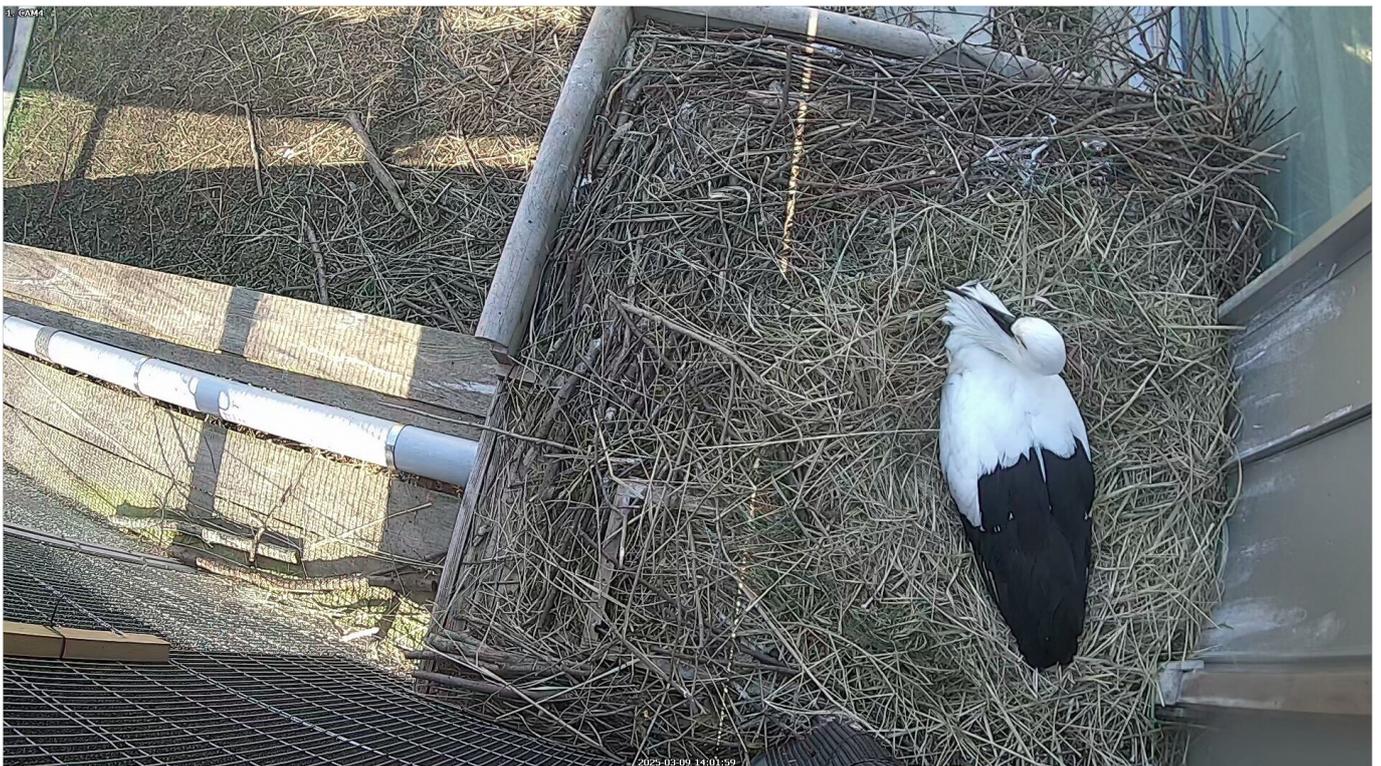
## 「産んだり！踏んだり?!」

2025年3月17日

3月4日深夜2時頃、2年ぶりにコウノトリが産卵しました。2年前は4月に産んだので、1か月早い産卵です。喜んだのもつかの間、次の日の15時、交尾行動中によろけ、その卵を割ってしまいました。卵を足全体で踏んでも簡単には割れませんが、運悪く爪が当たり穴が開いてしまったようです。

コウノトリは、1日おきに2～5個の卵を産みます。1卵目は割れましたが、その後もちゃんと産卵しています。

ある雪交じりの小雨の日、通常交代で抱卵しますが、夕方5時から朝5時まで空（♂）が抱卵し続けていました。



抱卵している空

花（♀）は怠けているわけではなく、次の産卵のため空の気遣いを受け入れているように見えました。空は1時間に1～2分程度立ち上がり、転卵（てんらん）をしています。転卵とは、卵を転がして卵の上下を入れ替える作業のことです。抱卵中、卵の上側は親鳥のお腹で暖かいますが、下側は冷たいため、卵を転がしまんべんなく温めるため、などの理由があります。

現在、巢内には4個の卵があります。様子を見ている私たちも、トラブルがないよう細心の注意を払っていますが、問題なく産んでくれてほっとしています。今は約1か月間「雨にも負けず」抱卵して……と願っています。



卵が4つ

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

飼育担当：しみじい